



美豆だより

特別号

平成27年3月19日
京都市立美豆小学校
校長 袖岡良彦



後期学校アンケートには、多くの保護者の方々にご協力いただきました。ありがとうございました。遅くなりましたが、ここにその結果を報告させていただきます。

学校アンケートの結果は、本年度の取組の経過とともに、「学校運営協議会」にて報告させていただきました。協議会では本校の様子を分析するとともに、課題についてのご示唆や解決に向けてのご意見をいただきました。今年度前半の取組を見直し、今後の取組に生かしていきたいと考えています。

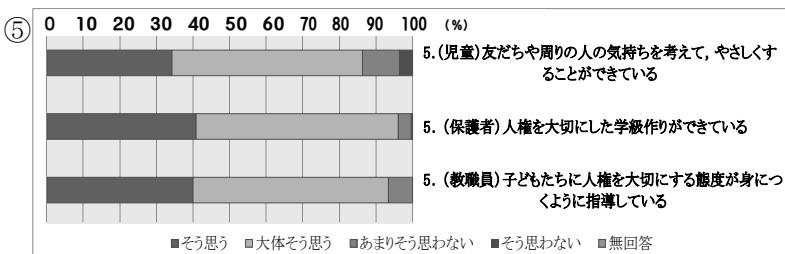
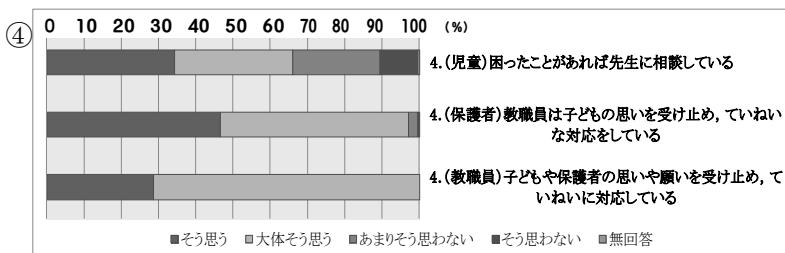
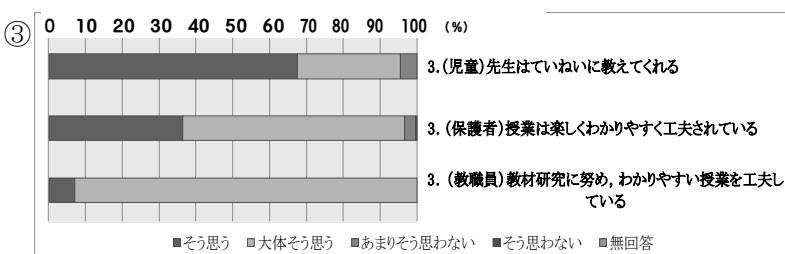
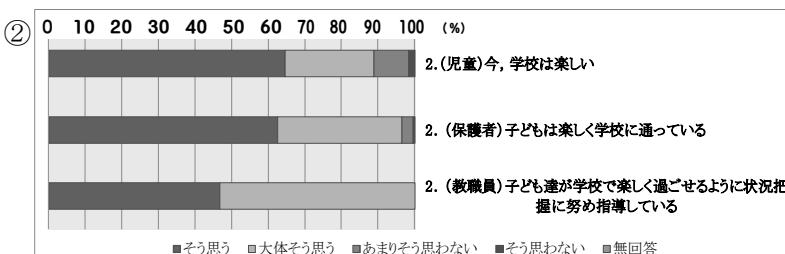
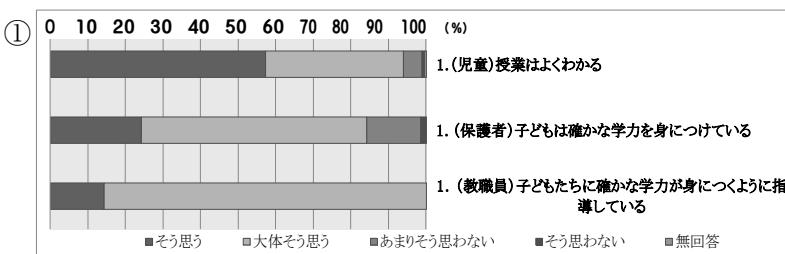
1. 実施アンケート

- ①児童アンケート(全児童対象) 実施期間 1月30日～2月6日
- ②保護者アンケート(保護者対象) 実施期間 1月30日～2月6日(回答数247名)
- ③教職員アンケート

2. アンケート結果と考察

上記アンケート調査の結果を報告します。3者対象のアンケートを、関連する項目ごとにグラフで比較しました。

グラフは、全体を100パーセントとし、左から順に、「そう思う」・「大体そう思う」・「あまりそう思わない」・「そう思わない」・「無回答」の割合を示しています。



【学力向上に向けて】

◇学力の定着・向上

①の「授業理解」では「そう思う」「大体そう思う」の数値が合わせて90%を越えています。

授業で理解したことを定着させるために学校や家庭で反復学習を行うことで学力向上につなげていきます。

③の「学習指導」では、児童・保護者共に「あまりそう思わない」「そう思わない」の数値が前期に比べて減少しています。ジョイントプログラム等の結果を踏まえ、「どの子にも届く学習指導」について研修を深め、日々の授業やぐんぐんタイム等で実践した結果だとれます。

学力向上に向けて、学力の定着を図ることが今後の課題です。

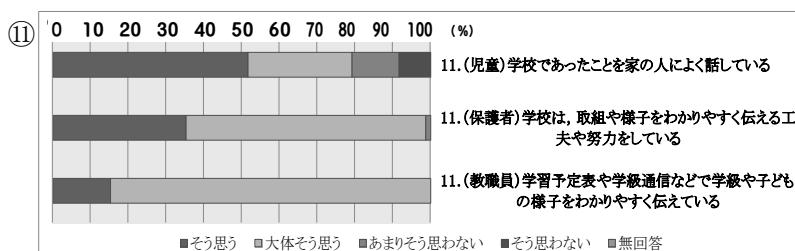
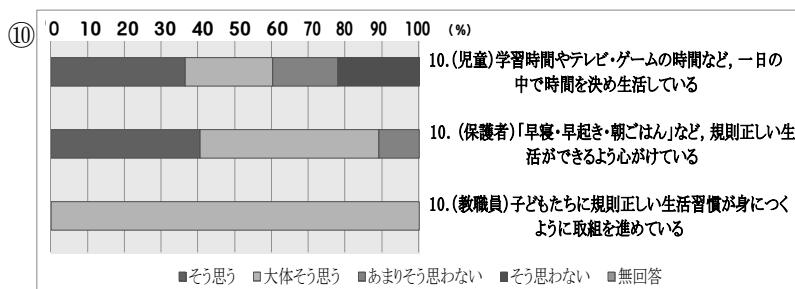
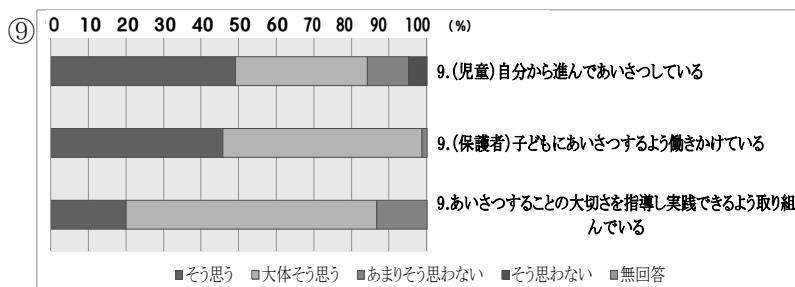
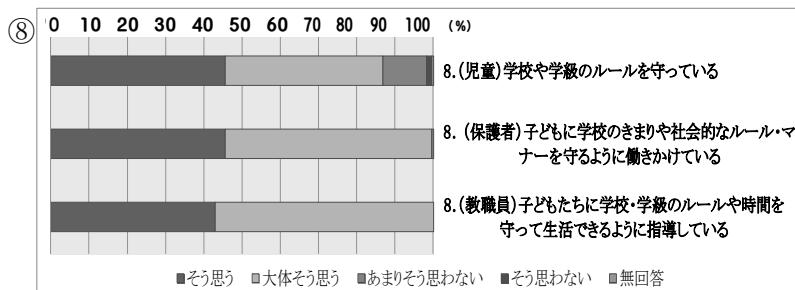
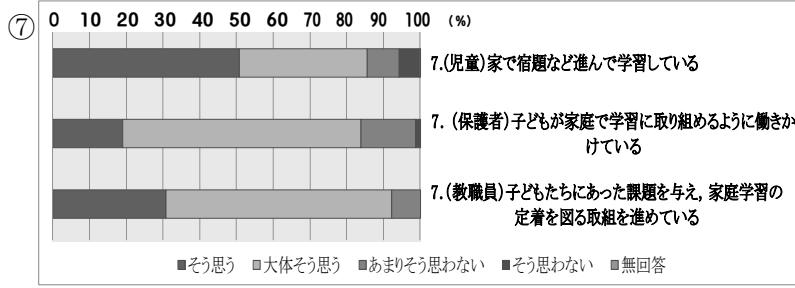
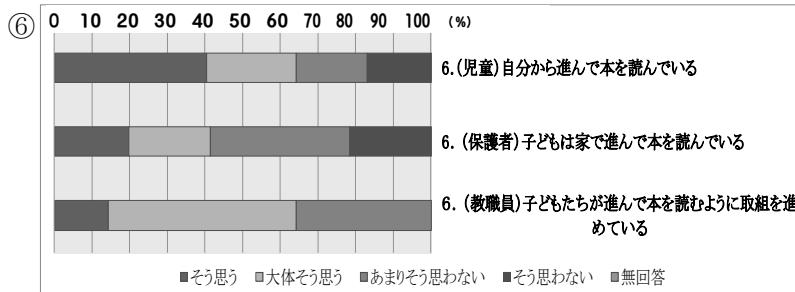
◇言語能力・読解力を支える読書習慣

⑥の「読書習慣」では、前期に比べ、児童・保護者・教職員とも前期のよい結果が維持できませんでした。保護者・教職員の意識のもち方が子どもの様子に反映されているのではないかという仮説が立てられます。「読解力」「言語能力」の向上には、読書習慣をつけることが不可欠です。図書館の活用や学校・家庭の連携で読書習慣の確立を図っていきます。

◇家庭学習と生活リズム

⑦の「家庭学習」では、保護者の「そう思う」が10%減少し、教職員の「そう思う」が増加しています。学校で指導している家庭学習の取組内容やその意義をしっかりと発信し、家庭との連携を図り、学力向上を図っていきます。

また、⑩「生活リズム」は、数年来、児童の「あまりそう思わない」「そう思わない」の数値が高い状態が続いている。教職員も「大体そう思う」が100%と、規則正しい生活習慣について自信をもって指導しきれているとは言えません。子どもが自分の意思でテレビやゲームの誘惑に打ち勝つことは難しいものです。適切な指導・計画通り進められるような継続した声かけ・学習環境の整備等、大人の支援が不可欠です。学校と家庭が連携して学年×15分+αの家庭学習時間を組み込んだ子ども達の生活リズムを構築できるようにしていきたいと思います。



美豆小ホームページも
ご覧ください。

美豆小学校HP QRコード



【生活の様子から】

◇子ども達の様子から見えてくるもの

②「楽しい学校生活」では、保護者の「そう思う」「大体そう思う」が97%を示しています。子ども達の家庭での様子や会話の中で、保護者の方々に安心していただいていると考えられます。

また、④「子どもの理解」では、教職員の「そう思う」「大体そう思う」が100%を示しています。子どもと教職員の関係は良好で、学年や学級のまわりが随所に見られます。反面、児童の「困ったことがあれば先生に相談している」の問では、「あまりそう思わない」「そう思わない」が33%を示しています。熱意と思いやりをもった指導を続けていくと同時に、自分の指導を振り返り、子どものかすかなサインを見過ごしたり気づかなかったりしてはいなかれず見直していくことを欠かしてはなりません。

3. 分析を終えて

「読書習慣の確立」「家庭での学習時間の確保のための指導」「子どものサインを見逃さない」「継続的・反復的な学習による学力定着」を学校・家庭・地域が連携して進めていき、子ども達の学力向上と健全な成長を協働によって支えていくことが大切だと感じました。今後とも美豆小教育の推進にご協力をお願いいたします。

4. 学校運営協議会による

学校関係者評価(外部評価) 平成27年3月17日(火)

学校評価に関する「各アンケートの結果と分析」や「本校の取組」を「学校運営協議会理事会」に報告し、下記のようなご意見、評価をいただきました。

【気持ちの良い挨拶ですがすがしい気分に】

「挨拶しよう」と声をかけ続けるときちゃんと挨拶ができるようになる。大人が手本を示すことが大事である。見守り隊の方々がよい手本となっている。

【スチューデントシティ学習等から】

元気があってとても明るく活動していた。それだけでなく、自分達の活動状況についてきちんと話し合いができたり、自分を振り返って改善点を見つけることができたりして感心した。また、美豆小学校代表として様々なイベントに参加した時も、堂々と発表し、立派な姿を見せていた。

【やればできる子たち】

ゲストティーチャーとして子どもたちにかかる中で、学ぶ意欲を感じた。少し教えればどんどん自分からやるようになるし、良く考えて粘り強く取り組んでいる。過保護にせず、親が勇気をもって子どもたちに何でもやらせていくべきだ。困難をあえて経験させていくことで子どもたちを伸ばすことができる。

